

『カトリック教会の暦(典礼歴)の始まり』

☆待降節 2016年11月27日～12月18日

☆降誕祭 2016年12月25日

☆降誕節 2016年12月25日～2017年1月9日

教会は、イエス・キリストの生涯、救いのわざを一年周期で記念して暦ができています。

はじめに、神が人となってこの世に来てくださった降誕(クリスマス)という出来事、次に、キリストの受難と復活の出来事、この二つの大きな出来事を中心とする1年の周期の暦を典礼歴と言います。

2016年11月27日に「待降節第1主日」を迎え新しく暦が始まりました。4週間イエス・キリストの誕生(主の降誕・クリスマス)を迎えるためのいろいろな準備をして過ごします。

カトリック兵庫教会も「主の降誕」(クリスマス)を迎えるため、心の準備の“黙想会”(12月11日「待降節第3主日」)を行ったり、“アドベント”や“馬小屋”を作ったり、“教会の建物の飾りつけ”などを行い「待降節(第1～第4)」を過ごしました。

12月25日待ちに待った「主の降誕祭(クリスマス)」を迎え夜半のミサ・日中のミサが行われました。

キリストの誕生をお祝いする「降誕節」は、1日だけお祝いするのではなく年が変わった1月9日の「主の洗礼」の祝日まで続きます。



アドベント





12月11日 黙想会



12月25日 降誕祭のミサ



馬小屋

聖家族の門



聖堂

